

記者発表資料	
平成31年4月5日	
担当課 (担当)	校区審議室 竹田・大坪
電話(内線)	20-3089(5155)

江山地区義務教育学校



新学校名(案)の選定について



令和2年4月の開校を目指している神戸小学校、美和小学校、江山中学校を統合した義務教育学校の校名案について、江山地区義務教育学校設立準備委員会より3案の報告を受け、鳥取市として4月3日に下記のとおり選定しましたのでお知らせします。今後、市議会6月定例会に上程し、議決を経て決定する予定です。

1 今回選定した学校名の案

<p>こうざんがくえん 「鳥取市立 江山学園」</p> <p>【選定理由】</p> <p>「江山」という名前は、自然豊かなこの地域をととてもよく表しており、今の中学校の校名に込められた思いや慣れ親しんだ名称を引き継いでいきたいという地域の思いがつまっています。また、小学校と中学校が一体となって義務教育学校になることをシンプルに表した、誰もが呼びやすく親しみが持てる名前であるため、これを校名案としました。</p>

2 選定経過

① 校名案の募集

期 間：平成31年2月1日～平成31年2月28日

対象者：江山地区在住の方、江山地区出身の方、または江山地区に「ゆかり」のある方

募集方法：持参、郵送、ファクシミリ、電子メールのいずれかの方法による

募集周知：応募用紙を江山地区全世帯に市報と同時に配布するとともに、江山地区各小中学校・保育園・公民館に設置、市公式ホームページに掲載

結 果：応募件数 240件 <参考> 応募学校名の総数160点(重複を除く)

※地域別内訳

[江山地区223件、市内(江山地区除く)14件、県内(鳥取市除く)2件、県外1件]

※年代別内訳

[幼児4件、小学生105件、中学生85件、高校生1件、20代2件、30代9件、40代7件、50代6件、60代12件、70代5件、無記入4件]

② 校名案の選考

【第一次選考】

江山地区義務教育学校設立準備委員会 教育環境整備部会(3月12日)

* 応募のあった中から、9つの候補名称を選考。

【第二次選考】

江山地区義務教育学校設立準備委員会(3月18日)

* 一次選考の9候補の中から、3つの候補名称を選考。

【校名案選定】

江山地区義務教育学校設立準備委員会が上記3つの候補名称を市長に報告した後、
「鳥取市立 江山学園」を校名案として選定。(4月3日)

3 当面のスケジュール(予定)

令和元年 6月 市議会に鳥取市立学校条例の一部改正案を提出

8月～11月 校章・校歌歌詞の募集、校歌作曲依頼

令和2年 2月 校章・校歌披露

4月 江山地区義務教育学校開校(現美和小学校の位置で開校)

【参考資料】

<これまでの経緯>

○平成25年1月

「第11期鳥取市校区審議会中間とりまとめ」で、江山中学校区全体で学校のあり方の検討が必要であるとされる。

○平成27年5月

自治会、まちづくり協議会、小学校教職員及び保護者などからなる「かんの教育を考える会」が設立される。

○平成28年7月

アンケート結果を踏まえた検討がなされ、「かんの教育を考える会」より、「近隣小中学校との小中一貫校又は近隣小学校との統合等、神戸の子どもたちの成長にとってより良い教育環境の早期整備を望む」要望書が、教育長に提出される。

○平成28年10月

神戸・美穂・大和地区の自治会及びまちづくり協議会、神戸小学校・美和小学校・江山中学校・美和保育園教職員及び保護者からなる「江山校区の学校のあり方を考える会」が設立される。

○平成29年9月

「江山校区の学校のあり方を考える会」より、「神戸小・美和小・江山中での小中一貫校設立の検討を望む」要望書が、市長、教育長に提出される。

○平成30年5月

「江山中校区の学校のあり方」について、校区審議会より答申される。

【校区審議会答申の概要】

1. 神戸小学校及び美和小学校、並びに江山中学校3校による「小中一貫型小学校・中学校又は義務教育学校（以下「小中一貫教育校」という。）」を設置する。

[付記]

(1) 神戸小学校及び美和小学校、並びに江山中学校3校による小中一貫教育校を、現在の美和小学校の位置に校舎一体型として設置する。

(2) 小中一貫教育校の設置は、十分な準備の上、できるだけすみやかに実施する。

(3) 施設一体型の小中一貫教育校が設置されるまでの間、神戸小の児童と美和小の児童による積極的な交流学习を実施するなど、教育面での十分な配慮を行う。

(4) 「コミュニティ・スクール」の指定を行う。

(5) 「小規模校転入制度」を導入する。

(6) 教育情報環境の整備を進める。

(7) 子どもたちが安全に通学できるよう配慮する。

(8) 地域伝統文化や自然探求など地域ならではの学習に留意すること。振興にも寄与すること。

○平成30年6月

鳥取市教育委員会において、方針を決定し、「江山校区の学校のあり方考える会」への報告及び説明会を実施。

○平成30年8月

「江山地区義務教育学校設立準備委員会」が組織され、開校に向けた協議が開始される。

<検討組織>

●江山地区義務教育学校設立準備委員会（地域代表3名、保護者代表11名、学校園代表11名）

・すごい！学校創造部会・・・義務教育学校教育ビジョンの策定、教育課程の編成等

（地域代表1名、保護者代表3名、学校園代表5名）

・教育環境整備部会・・・・・・施設・設備の検討、校名・校歌等の策定等

（地域代表1名、保護者代表4名、学校代表3名）

・江山の宝応援部会・・・・・・地域住民への説明、各種媒体での啓発活動等

（地域代表1名、保護者代表4名、学校園代表3名）